

クリスマス会



前日から輪飾りを作ったり、お星さまを飾ったりクリスマスを楽しみに待っていました。クリスマス会ではそら組がキャンドルサービスをしました。火の神から分けられた火を順番に自分のキャンドルに点けていきます。全員のキャンドルに火が灯るとそのきれいな炎に、温かな気持ちになりました。

その後、サンタクロースが各クラスに訪れました。サンタさんに聞いてみたいことがたくさんあって、多くの子が手をあげて、一生懸命に質問をしていました。お待ちかねのプレゼントをもらって、自然と笑顔になる子どもたちでした。



1月

- 7日 1号始業式
- 8日 誕生会
- 12日 避難訓練
- 14日 とんど

※今年度のもちつきは、岡山県でも新型コロナウイルス感染者が増加しているため、中止します。



2月

- 5日 誕生会
- 10日 避難訓練



今年の抱負を一言で表すと。。。?



そら

結

仲間を大切に

つき

強

ウイルスに
負けず元気に
つき組パワー
全開!

ゆき

幸

幸せいっぱ
いの一年に
しようね

ほし

憧

憧れのそら
組に向けて頑
張ります!

楽しく元気に
遊ぼうね。

にじ
楽

笑顔が
あふれる年
にしようね

笑

はな

いちょうの森だより



いちょうの森こども園 園だより No.40



いちょうの森こども園HPには、QRコードまたは下記のHPアドレスよりアクセスできます。

<https://ichounomori.okayamakodomokyoukai.jp/>

令和3年度1月7日 発行

いちょうの森こども園 園だより

桜が丘東3-3-496

TEL 086 (956) 2022

FAX 086 (956) 2023



前 へ

新年あけましておめでとうございます。今年のお正月はどう過ごされましたでしょうか？猛威を振るっている新型コロナウイルスの影響で、例年とは違う過ごし方をされた方も多いのではないのでしょうか。我が家で言いますと、近県の大規模イルミネーションを見に行くことが毎年の恒例になっていたのですが、今年は岡山駅へと続く『ももたろう通り』のイルミネーションを車の中から眺めるだけにしました。子どもたちは言わずもがなの反応。「そんなこともあったね」と思い出話に早くなってほしいと願うばかりです。

年明け早々、柄にもなく固いことを言いますが、ご容赦ください。昨年からたくさんの生活様式が変わりました。マスクをすることは当たり前になり、出先でもいたるところに消毒液が設置されています。ソーシャルディスタンスも定着したのかしていないのか、はっきりしたことは言えませんが、密にならないように対策が練られています。

新型コロナウイルスに気持ちの上で立ち向かうために、昨年を悲観したり「この先どうなるのだろう…」と下を向いたりするばかりではられません。ありがたいことに私たちは“自分は何ができるだろう”と考えることができます。研究者の方にできること、医療関係者の方にできること、企業としてできること、そして親として・子どもとして・地域の住民としてできること。もちろん、私たち教育・福祉従事者としてできること。それぞれにできることは違いますが、「自分や身近な人を守るために」という同じ気持ちを持って生活を進めていくことが大切です。経済のことも気になりますが、もう一度、気を引き締めていきたいところです。

さて、私自身の今年の抱負は「誰よりも話しかけやすい職員でいること」です。時には忙しそうに見えるかも知れませんが、お気軽にお声掛けください。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

雁 倫子

職員についてお知らせ

10月～春名美和子 ゆき

11月～井上理恵 保育補助

(ご連絡が遅くなり、申し訳ありません。)

1月13日～産休 栗正茜音 ゆき



発表会・表現あそび

そらくみ

「かえるのつなひき」の話を題材にした劇をしました。話の背景や沖縄の文化を調べながら取り組みました。セリフに気持ちをこめるのはとても難しかったのですが、今までに園生活で経験してきたことや感じてきたことを振り返りながら想像し、動きを試行錯誤して作り上げました。当日は緊張しましたが、自分なりに役割をしっかりと果たし、堂々と演技をする姿が頼もしかったです。



にじぐみ

身近なくだものになりきって表現あそびを日々楽しみ、「おうちの方のためにおいしいミックスジュースを作ろう」と発表会の日を迎えました。緊張した表情の子、おうちの方を見つけ手を振る子、恥ずかしくて保育者の後ろに隠れてしまう子など、にじ組らしい姿を見ていただくことができました。会場にいらしていた保護者の方々との発表中のやりとりがこどもたちは嬉しかったようです。



ほしくみ



『オニじゃないよおにぎりだよ』の絵本を題材に遊び始めてから、“おにぎり作り”にはまったほし組。実際にご飯を握っておにぎりを何度も作り、画用紙に描いたり、新聞紙で作ったりして、いろいろな素材でおにぎり作りを楽しみました。どんなおにぎりを作っている時も決まって口ずさむ『あいうえおにぎり』のうた。うたに合わせておにぎりの中身を考えることも一つの楽しみでした。また、オニの角づくりやグループで大きなオニを描くなど、劇あそびまでの過程も含めてのおもしろさがあったからこそ、セリフのやり取りや、なりきることの楽しさを感じられ、みんなで共有することに繋がった劇あそびでした。



ゆきぐみ



舞台上で演技するお兄さんお姉さんに刺激を受け、どんぐりマラカスを作り、うたに合わせて振ったり、ミニステージの上で手あそびをしたり、みんなで合わせてお辞儀をしたりして発表会ごっこを楽しみました。

また、食べ物を食べるまねや果物の皮をむく動作など日々のあそびの中で、実際の物がなくても、何かをしている“つもり”で遊ぶことを楽しむこともできています。

保育者が、新しくシフォンの布を出していると、ちょっと離れた場所から見ています。「おいで」と呼んでも遠巻きに様子を伺っていましたが「出してみる？」と袋から少し布を出すと、ニコニコで取りに来ました。首に巻いてみたり、頭にかぶってみたりどうやって遊ぶのが楽しいのかなと試していました。

はなぐみ



つきぐみ



こどもたちの好きな絵本を題材に『ともだちほしいなおおかみくん』の劇あそびをしました。うたや踊りが大好きなので劇あそびの中にも盛りだくさん。それぞれの動物が違う歌詞でしたが、自分の役の特徴を理解してすぐに覚えていました。

また、タンバリンの楽器演奏に挑戦。初めは簡単なリズム打ちから慣れていきました。少しずつうたに合わせて楽しみましたが、もちろん苦手な子もいます。しかし、繰り返し楽しんでいくうちに自然と身体にリズムが染みついていたようです。本番では、楽しんで叩くことができました。

人権キャラバン

「わざとじゃないけど…」



遊んでいるAさんに、走っていたBさんがぶつかってしまいました。わざとではないけどぶつかって、相手が痛くて泣いてしまったらどうする？ということについて考えました。自分はそんなつもりじゃなくても、知らず知らず相手を傷つけていることがあります。そら組の子がどうしたらよいかロールプレイに入り、考えたことをして見せてくれました。「わざとじゃないのに」と怒っているより「ごめんね」と言ったら、お互いの気持ちがふわふわになるねという話になりました。

実際にその後、はっぱの部屋で遊んでいる時、よけたつもりだったけどCさんのスカートが積木に当たって崩れてしまいました。最初は崩れた積木を見ているだけでしたが「こういう時はどうしたらいい？」と聞くと、キャラバンを思い出して「ごめんね」と言いながら一緒に積木を直し始めました。